



平成18年11月28日

各位

会社名 ゼネラルパッカー株式会社
代表者名 代表取締役社長 梅森 輝信
(JASDAQ・コード6267)
問い合わせ先 専務取締役 池澤 晃
管理部長
電話番号 0568(23)3111(代表)

平成19年7月期中間(非連結)業績予想の修正に関するお知らせ

平成19年7月期中間(平成18年8月1日~平成19年1月31日)の業績予想について、平成18年9月8日付当社「平成18年7月期決算短信(非連結)」にて発表いたしました業績予想を下記の通り修正いたします。

記

1. 平成19年7月期中間業績予想の修正(平成18年8月1日~平成19年1月31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A) (平成18年9月8日発表)	2,400	240	140
今回修正予想(B)	2,000	85	50
増減額(B-A)	△400	△155	△90
増減率(%)	△16.7	△64.6	△64.3
(ご参考) 前期実績(平成18年1月中間期)	1,620	65	42

2. 修正理由

当中間期の売上高につきましては、当中間期に売上計上可能な受注残高が増加していることに加え、受注見込み案件も多かったことから、前年同期比780百万円の増加を計画しておりました。

しかしながら、第1四半期の受注高はほぼ計画通り推移するものの、第2四半期の売上に予定していた案件の受注が一部低調であったことや、売上計上時期が下期にずれ込む案件が発生したことにより、当中間期での売上高は期初の予想を下回る見通しとなりました。このため、当中間期の売上高予想を2,000百万円に修正いたします。

また、利益面に関しましては、第2四半期の売上高の減少及び高粗利益機種の販売台数が少ないことに伴う売上総利益の減少により、期初の予想を大幅に下回る見通しとなりました。このため、当中間期の経常利益予想を85百万円、中間純利益予想を50百万円に修正いたします。

3. 平成19年7月期通期業績予想について（平成18年8月1日～平成19年7月31日）

通期に関しましては、第1四半期の受注高が前期を上回りほぼ計画通りに推移していることと、下期売上高に貢献可能な受注見込み案件が十分にあることから、中間期の修正分を回復することは十分に可能であると予想しております。

このため、上記の通り中間期の業績予想は修正いたしますが、通期の業績予想につきましては、平成18年9月8日付当社「平成18年7月期決算短信（非連結）」に記載の予想と変更はありません。

<ご参考>平成19年7月期の業績予想（平成18年8月1日～平成19年7月31日）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
予 想 (平成18年9月8日発表)	4,600	400	235
前 期 実 績 (平成18年7月期)	4,394	285	154

(注) 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

以上